

職員から二人目の新型コロナウイルス感染症が発生したことのお知らせ（最終報）  
及び職員から新たに4名の新型コロナウイルス感染者が発生したことのお知らせ（第1報）

令和3年1月8日

当院で新型コロナウイルスに感染した二人目の職員の病棟看護師が勤務していた一般急性期病棟では、当該看護師が最後に勤務に就いた日から本日で16日目になりますが、新たな感染者は発生していません。潜伏期間は最長で14日と言われておりますので、当該病棟では2次感染（院内感染）は発生しなかったと結論付けしました。

一方、都内でも新規感染者が爆発的に急増し、昨日緊急事態宣言が発出されましたが、一般急性期病棟で勤務する看護助手1名C（以下、Cという。）が1月4日に、一般急性期病棟で勤務する看護師1名D（以下、Dという。）と地域包括病棟で勤務する看護師1名E（以下、Eという。）が1月6日に、地域包括病棟で勤務する看護助手1名F（以下、Fという。）が1月7日にPCRが陽性になりました。4名はいずれも感冒様症状が出現して当院の発熱・感冒外来を受診したものです

Cは勤務員や患者さんと接触することはなく、濃厚接触者（マスク装着等の適切な感染防護を行わずに、1m以内の間隔で15分以上接触）に該当する患者さん、職員はいませんでした。

Dからの濃厚接触者に該当する患者さんはいませんでした。Dが担当した入院患者さん6名と、目黒区保健所の指導でDと一緒に休憩室に入った2名の看護師のPCR検査を1月11日に実施する予定です。

Eの勤務する地域包括病棟に入院している患者さんは、一般急性期病棟に入院している患者さんよりも介護必要度が高く、抱きかかえたり、食事の介助をしたりと、接触の度合いが高くなります。そこでEが最後に勤務してから6日目に当たる1月7日に、Eが勤務していた際に入院していた患者さん24名の内まだ入院中であった20名及び、1月7日に同病棟で勤務していた職員10名合計30名について、高感度抗原定量検査を実施したところ、幸い陽性者はおらず、院内での2次感染は起きないものと予想しています。

また、Fから濃厚接触者に該当する患者さん、職員はいませんでした。

今のところ、いずれの病棟においても新たに体調に異変を生じた患者さんはいらっしゃいません。慎重に見守って参ります。

なお、この件に関します電話でのお問い合わせは、業務に支障が生じますのでご遠慮願います。

当院を利用される患者さんやそのご家族にはご心配をおかけし、誠に申し訳ありません。

三宿病院長